

令和3年度

砺波市教育に関する事務の点検及び評価結果
に関する報告書（令和2年度分）

令和3年12月

砺波市教育委員会

目 次

I	令和2年度点検・評価の実施方針	1
1	趣旨	1
2	教育委員会の方針	1
3	点検・評価の対象	1
4	議会への報告及び公表	1
II	点検及び評価の結果	2
1	教育委員会の運営状況	2
(1)	教育委員会の構成	2
(2)	教育委員会の開催状況	2
2	教育委員会の組織	3
3	砺波市教育大綱	4
4	教育委員会の事務事業の評価	10
(1)	評価の対象事務事業	10
(2)	評価の方法	10
(3)	評価の公表	10
(4)	事務事業評価表の様式及び記載方法	10
(5)	教育に関する事務の点検及び評価	13
(6)	個別評価表	18
III	学識経験者の意見について	36
IV	まとめ	37

I 令和2年度点検・評価の実施方針

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たすため、砺波市教育委員会が実施する教育に関する事務の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表する。

2 教育委員会の方針

教育委員会が所管する事務事業のうち、施策として評価が必要なものについて、個別に事務事業評価を行い、これに基づいて総合的な評価（拡充、継続、見直し、廃止）をする。また、管理的、経常的事務についても、政策として評価が必要な事務については、評価対象とする。

3 点検・評価の対象

令和2年4月から令和3年3月までに実施した教育委員会の事務

4 議会への報告及び公表

点検・評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、砺波市ホームページに掲載する。

II 点検及び評価の結果

1 教育委員会の運営状況

(1) 教育委員会の構成(R 3. 3. 3 1 現在)

職名	氏名	就任(新教育委員会制度)	備考
教育長	山本 仁史	H28. 12. 23	教育長 H26. 4. 1～
教育長職務代理者	林 克彦	H28. 12. 23	委員 H25. 12. 23～
委員	小櫻 豊人	H28. 12. 23	委員 H26. 12. 23～
委員	齋藤 正樹	H28. 12. 23	委員 H20. 12. 23～
委員	信田 千春	H28. 12. 23	委員 H27. 12. 23～

(年齢等)

年齢：60歳台4人、40歳台1人

性別：男性4人、女性1人

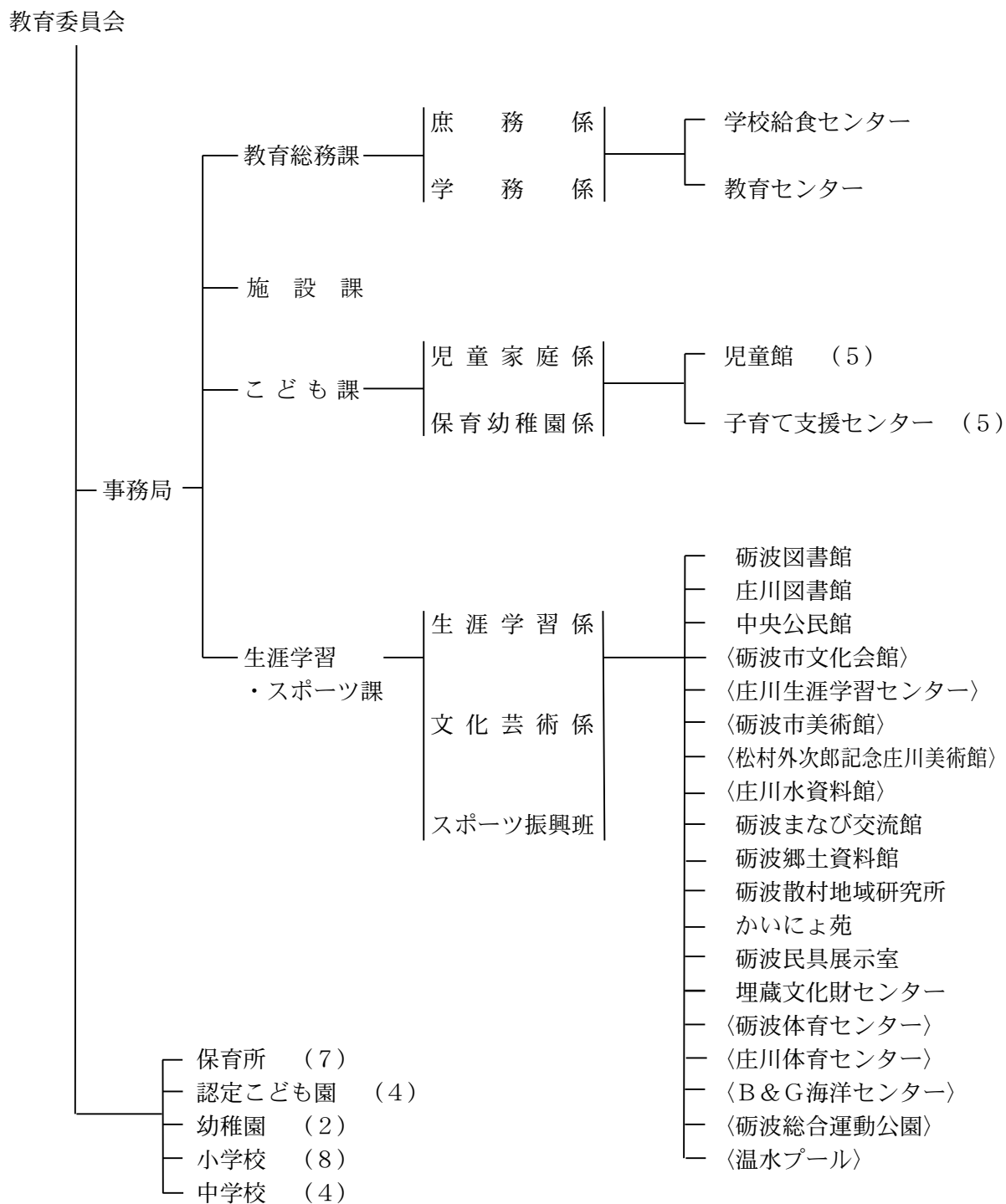
保護者である委員：1人

(2) 教育委員会の開催状況

- ・定例会 12回
- ・臨時会 4回

2 教育委員会の組織

【機構図】（R3.3.31現在）



（ ）は施設数

〈 〉は指定管理者制度による運営

3 砺波市教育大綱

1 基本方針

ともに輝き支えあう 人づくり

市民一人一人は、それぞれ個性をもった可能性あるかけがえのない存在です。未来を担う子どもたちが、互いに思いやりの心を持ちながら、のびのびとたくましく育つ教育環境を整えるとともに、市民の誰もが、地域の歴史や文化芸術にふれあい学ぶことにより、地域を愛し豊かな心を育む生涯学習の充実を図ります。また、健やかな生涯を送れるようスポーツ活動に親しみ楽しめるまちづくりを進めます。

2 大綱の期間

この大綱が対象とする期間は、第2次砺波市総合計画（平成29年度～令和8年度）との整合性を図るため、平成29年度から同計画前期の終期である令和3年度の5か年とします。

3 5つの主要施策

主要施策1 豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進

主要施策2 自立と共生の人間形成をめざす学校教育の推進

主要施策3 楽しく学び自らを高める生涯学習の推進

主要施策4 文化芸術の振興と文化財の保護

主要施策5 心と体を育むスポーツの振興

《主要施策1》 豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進

◆施策の内容

◎元気で笑顔あふれる子どもの育成

- 豊かな心と健やかな体を育てる教育・保育の推進
- コミュニケーション能力の基礎づくり

◎幼児教育の質の向上と人材育成

- 子育て支援に関わる人材の育成
- 発達障がい等に対する早期支援の推進

◎子育て支援サービスの充実

- 特別保育の拡充
- 地域における子育て支援の推進

◎子どもの人権の尊重

- 児童虐待防止体制の整備
- 貧困家庭等への支援

◎子育て環境の整備

- 教育・保育施設整備の推進
- 認定こども園化の推進

《主要施策2》 自立と共生の人間形成をめざす学校教育の推進

◆施策の内容

◎知、徳、体のバランスのとれた児童生徒の育成

- 個に応じた指導の充実と生きる力を身につけた児童・生徒の育成
- 確かな学力の定着と相談活動や支援活動の推進
- 「いのちの教育」や「心の教育」への取組と道徳、人権教育の推進
- 教職員研修と指導体制の充実
- 食育の指導体制と内容の充実

◎地域とともに育てる学校教育の推進

- 風土と地域資源を活用した地域を知り、誇りを育てる「ふるさと学習」の推進
- 校種間、学校・家庭・地域間の連携推進
- 奨学金制度の充実

◎共に支え高め合う特別支援教育の充実

- 特別な支援を要する児童生徒への支援体制の充実
- 保護者や学校、スクールカウンセラー等の連携
- 幼稚園・保育所と小中学校等との連携協力

◎学校施設の整備と充実

- 学校施設の整備及び教材備品等の充実
- 学校ICT環境の充実と活用

◎子どもの安全確保

- 登下校時の見守り活動の実施
- 非常時の適切な危機管理

《主要施策3》 楽しく学び自らを高める生涯学習の推進

◆施策の内容

◎学ぶ機会の創出と充実

- 多様な学習機会の企画や市民交流活動の提供
- 自主運営による講座やコミュニティ活動、社会貢献活動の支援
- 子どもから高齢者までが参加できる地域活動の充実
- 地域行事への参加意識の啓発

◎生涯学習施設の充実

- 生涯学習施設の効率的な活用と施設の改善
- 地域集会施設における改修の支援

◎家庭教育力の向上

- 「親育ち」に向けた学習機会の提供や「親学び」学習講座の支援
- 生活習慣や食習慣形成のための啓発活動の推進

◎図書館サービスの拡充

- にぎわいと学びを提供する図書館運営
- 読書文化の醸成と子どもの読書活動の推進
- 新砺波図書館の整備と蔵書・図書資料の充実

◎青少年の健全育成と女性活動の活性化

- 青少年健全育成運動の推進と確かな情報モラル、情報リテラシー教育の推進
- 青年・女性団体リーダー養成事業等による活動の活性化

《主要施策 4》文化芸術の振興と文化財の保護

◆施策の内容

◎文化芸術活動の推進

- 市民に親しまれ、活用される文化施設の運営
- 文化団体の自主的活動の支援
- 児童生徒への文化芸術に関する普及活動の推進

◎文化財等の保存と活用

- 史跡増山城跡の整備と活用
- 指定文化財等の点検や適切な保存

◎地域文化の継承と発展

- 地域の伝統文化や伝統芸能の継承と発展
- 地域の歴史や文化を学ぶ機会の提供

《主要施策5》 心と体を育むスポーツの振興

◆施策の内容

◎生涯スポーツの振興

- 気軽に親しめるスポーツの普及と地域におけるスポーツの振興
- 子どもたちの体力づくり支援
- 地域スポーツ推進リーダーやスポーツボランティア等の育成

◎スポーツ競技力の向上

- トップアスリート養成に向けた優秀スポーツ選手育成の推進
- 競技スポーツの魅力提供による底辺拡大と普及啓発
- スポーツ指導者の発掘と育成

◎スポーツ施設の充実

- 安全で快適に利用できるスポーツ環境づくり
- 新砺波体育センターの整備

4 教育委員会の事務事業の評価

(1) 評価の対象事務事業

評価にあたっては、砺波市教育大綱に掲げられた主要施策を構成する事務事業を評価する。

ただし、評価するのは政策的に実施される施策（事務事業）とし、経常的かつ管理的な事務事業及び一時的な建設に係る事務等については、評価表は作成しないこととする。

(2) 評価の方法

① 所管課において、評価の対象となる主な施策を所属長が評価し、その総合評価が「A」、「C」及び「D」のものについて個別評価表を作成する。

② 学識経験者から教育委員会の事務事業評価に対する意見を聴き、課題・改善及び今後の方向をまとめる。

(3) 評価の公表

市民に対する説明責任を確保するため、市ホームページで公表する。

(4) 事務事業評価表の様式及び記載方法

次ページ「評価実施方法」のとおり

<評価実施方法>

○実施手順

砺波市教育大綱（平成29年度～令和3年度）に掲げられた主要施策を構成する事務事業区分ごとに、砺波市教育に関する事務の点検及び評価を実施する。

- (1) 砺波市教育大綱の5つの主要施策に分類された事務事業を確認する。
- (2) 分類された事務事業の評価を実施し、教育に関する事務の点検及び評価表（以下「評価表」という。）を作成する。ただし、評価するのは政策的な施策（事務事業）とし、管理的な事務事業、建設に係る事務事業及び新型コロナウイルスの影響による給付事業については、評価表は作成しないこととする。
- (3) 学識経験者等に評価表をもとに事務事業等を説明し、その内容をまとめ、評価表と合わせて、議会に提出するとともに公表する。

○評価方法

- (1) 評価対象事務事業について、評価の対象となる主な施策を所属長が評価し、その総合評価が「A」、「C」及び「D」のものについて、個別評価表を作成する。
- (2) 所属長の総合評価が「A」、「C」及び「D」のものについて、次により個別評価表を作成する。

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	砺波市教育大綱に掲げる主要施策ごとに分類された事務事業一覧表に基づき、所管課において確認修正を行う。
施策の内容	砺波市教育大綱に掲げる主要施策ごとに分類された事務事業について、概要を記載する。

令和2年度事務事業の実施状況

事業名・予算科目	令和2年度で予算措置された事業に基づき、所管課において確認、修正を行う。
R2最終予算額	令和2年度最終予算額を記載する。（千円単位）
R2決算額	令和2年度決算額を記載する。（千円単位）
R3当初予算額	令和3年度当初予算額を記載する。（千円単位）
評価した主な施策	政策評価する施策（事業）を具体的に記載する。

令和2年度事務事業の点検及び評価

<p>必要性</p>	<p>A：市民ニーズが高く必要な事務事業である。 B：法令等の定め、または一定の市民ニーズがあり、必要は高い。 C：市民ニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D：市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。</p>
<p>優先性</p>	<p>A：優先度が高く、他の事務事業に優先して実施する必要がある。 B：効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C：効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D：事務事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替措置を検討する必要がある。</p>
<p>効率性 (経済性)</p>	<p>A：安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B：安価な事業費で効果もあつたが、計画どおり進捗していない。 C：成果は認められるが、コストを要した。 D：十分な成果が認められず、コストも要した。</p>
<p>総合評価</p>	<p>A (拡充)：十分な執行水準にあり、かつ必要性も高く、事務事業の拡充が必要である。 B (継続)：一定の執行水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C (見直し)：事務事業の必要性は認められるが、その方法等の見直しが必要 D (廃止)：事務事業の廃止を検討する (又は休止)</p>
<p>評価の理由等</p>	<p>必要性、優先性、効率性 (経済性) の項目の個別評価を考慮し、総合評価に至る経過を具体的事例を踏まえて説明する。 e. g. 「A」であれば、何を拡充するのか。「B」であれば、何を効率化するか。「C」であれば、何を見直すか、「D」であれば、廃止時期など。</p>

(5) 教育に関する事務の点検及び評価

(A (拡充)、B (継続)、C (見直し)、D (廃止))

(単位：千円)

番号	事業名	評価した主な施策	総合評価	予算科目	所管課	R2最終 予算額	R2 決算額	R3当初 予算額
1	児童福祉総務費	・子育て支援サービス普及促進事業（子育て応援券の配布、子育て支援サービスの広報、親子ふれあい塾開催等） ・食育の推進（各種研修、行事開催） ・子ども・子育て会議の開催（砺波市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況、保育所・認定こども園・幼稚園の課題などの確認）	A	3-02-01-02	こども課	14,700	12,187	9,868
2	家庭児童対策事業	・家庭児童相談室（家庭児童相談員5名体制）の運営 ・子ども家庭総合支援拠点の運営 ・要保護児童対策地域協議会の開催 ・母子生活支援施設への措置対応	A	3-02-01-03	こども課	13,300	11,281	16,413
3	地域児童対策事業	・放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブの運営）の実施 ・放課後児童教室の増築工事の実施 ・砺波市児童クラブ連合会への補助	A	3-02-01-04	こども課	98,349	95,320	34,226
4	児童センター管理運営事業	・児童センター（出町）と児童館（東山見・青島・雄神・種田）の管理運営 ・屋外型の児童遊園（中村・千代・東石丸・夢の平）の管理運営	C	3-02-01-05	こども課	17,223	15,570	15,709
5	こども・妊産婦医療給付事業	・子ども・妊産婦の医療費の助成（子育て支援医療、妊産婦医療、未熟児養育医療） ・呉西圏域連携事業（現物給付の範囲を拡大）	A	3-02-01-06	こども課	179,563	122,427	181,997
6	三世同居推進事業	・となみっ子宝券の配布 ・となみっ子にっこり子育てプロジェクトの実施	B	3-02-01-07	こども課	8,237	4,955	6,235
7	子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費	該当事務事業なし	—	3-02-01-18	こども課	74,880	66,110	—
8	新生児特別給付金給付事業費	該当事務事業なし	—	3-02-01-19	こども課	27,300	24,401	—
9	助産施設収容措置事業	・経済上の理由により入院助産を受けることができない妊産婦に対し費用を負担	C	3-02-02-01	こども課	420	0	420
10	児童手当給付事業	・児童手当の支給（中学校修了前児童を養育している保護者に手当を支給）	B	3-02-02-02	こども課	752,422	714,071	736,996
11	母子・寡婦等福祉対策事業	・母子・父子自立支援員の配置 ・母子家庭の母親の就業を支援（自立支援教育訓練給付金、高等職業訓練促進給付金） ・砺波市母子寡婦福祉連合会への補助 ・DV相談事業 ・子どもの学習支援事業 ・ひとり親家庭子育てサポート事業補助	B	3-02-03-01	こども課	10,997	8,097	10,937
12	遺児福祉金給付事業	・市内に居住する義務教育修了前の遺児について遺児福祉金を支給	B	3-02-03-02	こども課	500	409	500
13	ひとり親家庭等医療費給付事業	・ひとり親家庭等の児童（18歳に達した最初の3月31日まで）及び父、母又は養育者に対して医療費を助成	A	3-02-03-03	こども課	32,268	25,968	29,099
14	母子寡婦福祉資金貸付事業	・砺波市母子寡婦福祉連合会への融資資金の貸付（母子家庭の母及び寡婦の日常生活に必要な不時の経費に対し市連合会から小口資金の貸付）	C	3-02-03-04	こども課	2,000	2,000	2,000
15	児童扶養手当給付事業	・児童扶養手当の支給（離婚等により父母と生計をともにしていない児童の母又は父、父母のいずれかが身体等に重度の障害がある児童の母又は父、又は父母に代わりその児童を養育している人に手当を支給）	B	3-02-03-05	こども課	12,263	104,651	108,089
16	ひとり親世帯等緊急支援事業費	・新型コロナウイルス感染症の影響により、学校の臨時休業により様々な影響を受けたひとり親世帯に対する支援	—	3-02-03-06	こども課	24,530	23,682	—
17	ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費	・新型コロナウイルス感染症の影響により、学校の臨時休業により様々な影響を受けたひとり親世帯に対し、児童手当受給世帯等への支援として一時金を支給	—	3-02-03-07	こども課	55,978	43,034	—

(A (拡充)、B (継続)、C (見直し)、D (廃止))

(単位:千円)

番号	事業名	評価した主な施策	総合評価	予算科目	所管課	R2最終 予算額	R2 決算額	R3当初 予算額
18	保育所事業	・市立保育所（7保育所）の運営にかかるもの	B	3-02-04-02	こども課	316,635	274,456	325,329
19	子育て支援センター運営事業	・子育て支援センター事業（育児不安等に対する相談指導、子育てに関する情報提供、子育てサークルへの支援） ・ファミリー・サポート・センター事業（組織の運営及び依頼会員と協会の調整）	B	3-02-04-03	こども課	63,784	59,060	64,116
20	民間保育所育成事業	・市内民間保育施設（1保育所、2認定こども園）への運営費助成	B	3-02-04-04	こども課	6,840	3,657	8,028
21	保育実施委託運営事業	・市内民間保育所及び認定こども園（1保育所・3認定こども園）や、市外保育所及び及び認定こども園への保育実施委託運営費 ・特別保育事業の実施に対する補助（一時保育、延長保育、病後児保育、年度途中入所、すこやか保育）	B	3-02-04-05	こども課	552,825	442,843	504,450
22	保育施設整備事業	・旧砺波図書館解体工事【R3へ繰越】 ・出町認定こども園駐車場整備工事【R3へ繰越】 ・旧中野幼稚園園舎解体工事【R2限り】 ・施設移管円滑化補助金（旧栴檀野幼稚園園舎分）【R2限り】 ・出町青葉幼稚園新築工事補助金【R2限り】 ・公立保育所・認定こども園ICT支援システム導入事業【R3へ繰越】 ・私立認定こども園ICT支援システム導入事業費補助金【R3へ繰越】	B	3-02-04-06	こども課	470,964	279,424	365,048
23	認定こども園事業	・市立認定こども園（4認定こども園）の運営にかかるもの	B	3-02-04-07	こども課	475,849	445,387	469,901
24	教育委員会運営事業	該当事務事業なし	-	10-01-01-01	教育総務課	1,673	1,491	1,708
25	教育支援委員会運営事業	該当事務事業なし	-	10-01-02-02	教育総務課	233	232	202
26	事務局運営事業	・特別支援担当指導主事の配置 ・早期支援コーディネーターの配置 ・ネットトラブル防止対策事業 ・小中学校長会等補助金 ・市学校保健会補助金	B	10-01-02-03	教育総務課	13,871	10,139	14,348
27	外国語指導助手招致事業	・小中学校に外国語指導助手を配置	B	10-01-02-04	教育総務課	33,685	31,495	39,600
28	宮繕事業	該当事務事業なし	-	10-01-02-05	教育総務課	5,757	5,550	2,589
29	教育センター運営事業	・教職員研修 ・「とらみ学びフォーラム」の開催 ・視聴覚ライブラリーの貸出	C	10-01-03-01	教育センター	8,030	6,709	4,452
30	適応指導教室運営事業	・適応指導教室「ひよどり」の開設	B	10-01-03-02	教育センター	6,428	5,960	6,580
31	奨学資金貸付事業	・奨学資金の貸付及び給付	B	10-01-04-01	教育総務課	16,080	11,520	11,400
32	神下勇夫妻奨学資金貸付・給付事業	・神下勇夫妻奨学資金の貸付及び給付	B	10-01-05-01	教育総務課	4,920	2,640	5,760
33	小学校管理運営事業	・校務助手及び給食パートの配置 ・学校管理用消耗品の購入 ・学校管理用備品の修繕 ・子どもの登下校安全対応推進事業	B	10-02-01-02	教育総務課	55,025	49,519	59,377
34	スクールバス運行事業	・スクールバス運行委託料 ・スクールバス維持管理費及び燃料費 ・スクールバスの更新 ・スクールバス修繕費	B	10-02-01-03	教育総務課	42,162	38,552	19,469
35	小学校保健管理費	・学校医等の報酬 ・児童・教職員の健康診断 ・就学時検診	B	10-02-01-04	教育総務課	25,296	14,514	15,433

(A (拡充)、B (継続)、C (見直し)、D (廃止))

(単位:千円)

番号	事業名	評価した主な施策	総合評価	予算科目	所管課	R2最終 予算額	R2 決算額	R3当初 予算額
36	小学校施設管理費	該当事務事業なし	—	10-02-01-05	教育総務課	125,477	99,228	108,472
37	小学校施設管理費(明許繰越)	該当事務事業なし	—	10-02-01-07	教育総務課	2,310	2,310	—
38	小学校教育奨励事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校司書、学習支援員、スタディメイトの配置 ・教材用消耗品の購入 ・教育用備品の修繕 ・教育用コンピューターの賃借料及び保守料の支出 ・ふるさと学習推進事業 	A	10-02-02-01	教育総務課	233,993	220,944	109,579
39	小学校教材備品整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・一般教材備品の購入 ・理科備品の購入 	B	10-02-02-02	教育総務課	14,070	13,294	4,090
40	小学校教育振興補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・社会理科現地学習補助金 ・研究指定校補助金 ・学習支援ボランティア活用事業補助金 	B	10-02-02-03	教育総務課	5,093	3,232	3,280
41	小学校児童就学奨励事業	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育就学奨励費 ・遠距離通学児童補助 ・要保護・準要保護児童就学援助 	B	10-02-02-04	教育総務課	32,224	25,852	26,545
42	小学校心の教室運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・心の教室相談員の配置 	B	10-02-02-05	教育総務課	4,458	3,824	4,048
43	小学校教育奨励事業(明許繰越)	該当事務事業なし	—	10-02-02-10	教育総務課	157,136	116,961	—
44	中学校管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・校務助手及び給食パートの配置 ・学校管理用消耗品の購入 ・学校管理用備品の修繕 	B	10-03-01-02	教育総務課	49,991	25,905	30,548
45	中学校保健管理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校医等の報酬 ・生徒・教職員の健康診断 	B	10-03-01-03	教育総務課	15,992	8,706	11,482
46	中学校施設管理事業	該当事務事業なし	—	10-03-01-04	教育総務課	69,260	46,495	54,334
47	中学校教育奨励事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校司書、スタディメイトの配置 ・教材用消耗品の購入 ・教育用備品の修繕 ・教育用コンピューターの賃借料及び保守料の支出 ・ふるさと学習推進事業 	A	10-03-02-01	教育総務課	117,415	106,090	57,513
48	中学校教材備品整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・一般教材備品の購入 ・理科備品の購入 	B	10-03-02-02	教育総務課	3,077	2,639	10,244
49	中学校教育振興補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各種大会等の参加補助金 ・研究指定校補助金 ・学習支援ボランティア活用事業補助金 	B	10-03-02-03	教育総務課	5,995	4,030	4,147
50	中学校生徒就学奨励事業	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育就学奨励費 ・遠距離通学生徒補助 ・要保護・準要保護生徒就学援助 	B	10-03-02-04	教育総務課	23,404	18,895	21,649
51	中学校心の教室運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・心の教室相談員の配置 	B	10-03-02-05	教育総務課	3,256	2,585	2,853
52	スポーツエキスパート派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導者の派遣 	B	10-03-02-06	教育総務課	2,888	2,116	2,886
53	14歳の挑戦事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会の開催 ・コロナ禍の影響により中止 	B	10-03-02-07	教育総務課	1,672	9	1,672
54	部活動指導員配置事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導員の配置 	C	10-03-02-08	教育総務課	3,138	1,317	2,795
55	中学校教育奨励事業(明許繰越)	該当事務事業なし	—	10-03-02-10	教育総務課	80,506	58,489	—

(A (拡充)、B (継続)、C (見直し)、D (廃止))

(単位:千円)

番号	事業名	評価した主な施策	総合評価	予算科目	所管課	R2最終 予算額	R2 決算額	R3当初 予算額
56	幼稚園事業	・市立幼稚園(2幼稚園)の運営費にかかるもの	B	10-04-01-02	こども課	27,972	21,067	14,379
57	教育実施委託運営事業	・市内私立認定こども園(3認定こども園)及び市外私立認定こども園への教育実施委託運営費	B	10-04-01-03	こども課	77,980	72,621	116,027
58	幼稚園就園奨励事業	・教育・保育の無償化に伴う一時預かり(幼稚園型)利用料助成	B	10-04-02-01	こども課	216	83	216
59	社会教育推進事業	・砺波視聴覚教育協議会負担金 ・成人式開催費 ・指定管理施設事業補助金(花と緑と文化の財団)	B	10-05-01-02	生涯学習・スポーツ課	149,454	147,633	153,786
60	青少年女性育成事業	・青年団体リーダー養成事業 ・女性団体支援補助金 ・各種団体活動補助	C	10-05-01-03	生涯学習・スポーツ課	2,375	2,113	1,047
61	子供教室推進事業	・放課後子どもプラン運営委員会 ・放課後子ども教室開設委託 ・土曜学習推進事業開設委託	B	10-05-01-04	生涯学習・スポーツ課	3,120	2,446	2,990
62	生涯学習施設運営事業	・指定管理料(花と緑と文化の財団)	B	10-05-01-05	生涯学習・スポーツ課	13,274	13,117	12,730
63	砺波まなび交流館管理運営事業	・会計年度任用職員人件費 ・外壁タイル浮き点検・修繕	B	10-05-01-06	生涯学習・スポーツ課	11,248	9,561	11,083
64	砺波まなび交流館教室開設事業	・まなび講座(講師報償費)	B	10-05-01-07	生涯学習・スポーツ課	1,070	753	925
65	新図書館整備事業	該当事務事業なし	—	10-05-01-08	砺波図書館	159,223	18,803	—
66	新図書館整備事業(明許繰越)	該当事務事業なし	—	10-05-01-17	砺波図書館	16,100	15,197	—
67	新図書館整備事業(逡次繰越)	該当事務事業なし	—	10-05-01-18	砺波図書館	1,309,427	1,268,982	—
68	公民館事業	・公民館長・公民館主事人件費 ・運営事業委託料	A	10-05-02-01	生涯学習・スポーツ課	44,603	42,315	42,976
69	生涯学習推進事業	・地区高齢者学級開設委託 ・市民大学「学遊塾」開催事業	B	10-05-02-03	生涯学習・スポーツ課	1,596	767	1,576
70	公民館事業(明許繰越)	該当事務事業なし	—	10-05-02-06	生涯学習・スポーツ課	1,500	1,500	—
71	文化財保全活用事業	・文化財保護審議会委員報酬 ・文化財保護審議会運営費等 ・郷土芸能伝承指導者育成事業補助金 ・文化財保全事務費等 ・砺波正倉保守点検	B	10-05-03-01	生涯学習・スポーツ課	3,711	3,093	5,328
72	文化財保存整備事業費	・市内試掘調査事業費 ・文化財施設自動火災報知設備補助 ・文化財施設防犯設備修繕事業補助	B	10-05-03-02	生涯学習・スポーツ課	4,961	2,549	2,001
73	文化財施設管理運営事業	・かいによ苑維持管理	C	10-05-03-03	生涯学習・スポーツ課	3,283	3,223	3,527
74	増山城跡整備活用事業	・史跡整備工事 ・活性化事業 ・増山陣屋運営費	B	10-05-03-04	生涯学習・スポーツ課	12,534	11,525	12,852
75	芸術文化振興事業	・砺波市文化祭委託 ・文化活動支援事業 ・芸術文化振興等	B	10-05-03-05	生涯学習・スポーツ課	2,800	2,430	2,800
76	文化会館管理運営事業	・指定管理料 ・施設設備更新等	B	10-05-03-06	生涯学習・スポーツ課	41,752	41,032	17,525

(A (拡充)、B (継続)、C (見直し)、D (廃止))

(単位:千円)

番号	事業名	評価した主な施策	総合評価	予算科目	所管課	R2最終 予算額	R2 決算額	R3当初 予算額
77	砺波市美術館管理運営事業	・指定管理料 ・収蔵美術品購入 ・施設改修工事	B	10-05-03-07	生涯学習・スポーツ課	39,392	38,607	27,259
78	庄川美術館管理運営事業	・指定管理料	C	10-05-03-08	生涯学習・スポーツ課	6,298	6,298	6,298
79	庄川水資料館管理運営事業	・指定管理料	D	10-05-03-09	生涯学習・スポーツ課	2,117	2,171	2,171
80	埋蔵文化財センター管理運営事業	・埋蔵文化財センター管理運営 ・埋蔵文化財保存活用事業	B	10-05-03-10	生涯学習・スポーツ課	5,000	4,643	5,065
81	文化会館管理運営事業(明許繰越)	該当事務事業なし	—	10-05-03-16	生涯学習・スポーツ課	1,254	1,254	—
82	図書館管理事業	該当事務事業なし	—	10-05-04-02	砺波図書館	33,639	31,077	43,938
83	図書館運営活動事業	・雑誌スポンサー制度の運用(雑誌スポンサー30事業所40誌) ・蔵書検索サイト及び図書館情報システムの利用促進 ・SNSを利用した図書情報の提供 ・ボランティアとの協働によるイベントや読み聞かせ等の実施 ・学校図書館との連携	B	10-05-04-03	砺波図書館	59,414	53,390	34,767
84	図書館運営活動事業(明許繰越)	該当事務事業なし	—	10-05-04-05	砺波図書館	14,526	14,526	0
85	郷土資料館管理運営事業	・春秋特別展事業 ・砺波民具展示室環境整備事業 ・国重要有形民俗文化財関係事業 ・旧中嶋家・旧中越銀行文化財保存事業	B	10-05-05-02	郷土資料館	35,321	31,693	19,777
86	散村地域研究所運営事業	・所長・所員報償費等 ・事務事業委託	B	10-05-05-03	散村地域研究所	1,857	1,160	1,857
87	社会体育振興事業	・スポーツ推進審議会 ・体育指導専門員配置 ・スポーツ推進委員配置 ・スポーツ推進委員協議会運営 ・県派遣スポーツ主事配置	B	10-06-01-02	生涯学習・スポーツ課	11,072	9,616	11,120
88	生涯スポーツ振興事業	・社会体育事業委託 ・地区体育振興事業 ・スポーツフェスティバル開催	B	10-06-01-03	生涯学習・スポーツ課	5,003	3,801	4,893
89	スポーツ奨励事業	・社会体育事業費(市体開催、県体派遣) ・となみ庄川散居村縦断マラソン開催(R2中止) ・優秀スポーツ選手育成事業補助 ・ジュニア強化・指導育成事業補助 ・B&G海洋センター活動補助 ・少年少女優秀スポーツ選手表彰 ・スポーツ競技大会出場激励	C	10-06-01-04	生涯学習・スポーツ課	11,336	3,818	11,211
90	体育団体育成事業	・市スポーツ少年団活動費補助 ・市体育協会活動補助	B	10-06-01-05	生涯学習・スポーツ課	44,537	44,348	48,330
91	体育施設事業	・指定管理料(地域体育館9施設、社会体育施設19施設、温水プール) ・地域体育館維持管理 ・体育施設用地賃借料 ・体育施設改修 ・体育施設修繕等維持管理 ・体育施設備品購入 ・県西部体育センター運営事業補助	B	10-06-02-01	生涯学習・スポーツ課	198,063	188,914	227,725
92	体育施設事業(明許繰越)	該当事務事業なし	—	10-06-02-03	生涯学習・スポーツ課	1,300	1,287	5,059
93	給食センター運営事業	・日本型食生活を推進(食に関する教材となるよう献立・調理を工夫) ・地産地消の推進(JA等と協力し給食に地産物の活用) ・食育の推進(学校巡回や授業への参加等)	B	10-06-03-02	給食センター	88,715	88,175	88,847
94	給食センター管理事業	該当事務事業なし	—	10-06-03-03	給食センター	115,799	37,986	44,554

(6) 個別評価評価表

令和2年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： こども課 児童家庭係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進
施策の内容	元気で笑顔あふれる子どもの育成

令和2年度事務事業の実施状況

事業名	児童福祉総務費				
予算科目	3-02-01-02				
R2最終予算額	14,700	R2決算額	12,187	R3当初予算額	9,868
	千円		千円		千円
事務事業評価した主な施策	①子育て支援サービス普及促進事業 ・子育て応援券の配布、子育て支援サービスの広報、親子ふれあい塾開催等 ②食育の推進 ・各種研修、行事開催 ③子ども・子育て会議の開催 ・砺波市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況、保育所・認定こども園・幼稚園の課題などの確認				

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	A	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する(又は休止)
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	「子ども・子育て支援新制度」のもと、子育て家庭の負担軽減のため、子育て支援サービス事業の実施とPRに努めており、今後も引き続き実施していくことが必要である。 「子ども・子育て支援法」に基づき、砺波市子ども・子育て会議を開催し、「砺波市子ども・子育て支援計画」の進捗状況の確認や子育て支援事業について幅広く意見を聴き事業を進捗するため今後も必要である。	

令和2年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： こども課 児童家庭係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進
施策の内容	子育て支援サービス

令和2年度事務事業の実施状況

事業名	家庭児童対策事業				
予算科目	3-02-01-03				
R2最終予算額	13,300	R2決算額	11,281	R3当初予算額	16,413
	千円		千円		千円
事務事業評価した主な施策	①家庭児童相談室(家庭児童相談員5名体制)の運営 ②子ども家庭総合支援拠点の運営 ③要保護児童対策地域協議会の開催 ④母子生活支援施設への措置対応				

事務事業の点検及び評価

必要性	B	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	A	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する(又は休止)
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	新型コロナウイルス感染症の影響や、発達障害や虐待等の困難ケースが増加しており、家庭児童相談員の活動は更に需要が高まっている。家庭児童相談員を引き続き5人体制で活動することで、多くのケースにかかわる支援が可能であるため、引き続き事業を継続していく。	

令和2年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： こども課 児童家庭係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進
施策の内容	子育て支援サービス

令和2年度事務事業の実施状況

事業名	地域児童対策事業			
予算科目	3-02-01-04			
R2最終予算額	98,349	R2決算額	95,320	R3当初予算額
	千円		千円	千円
事務事業評価した主な施策	①放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブの運営)の実施 ②出町小学校区放課後児童教室(第2教室)の増築工事の実施 ③砺波市児童クラブ連合会への補助			

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性(経済性)	C	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する(又は休止)
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)		市内8小学校すべてに放課後児童クラブが設置されており、児童の健全育成および共働き家庭への支援のためにも継続が必要である。 放課後児童クラブへの入所希望者が年々増加傾向にあり、部屋の確保や支援員の確保などの課題があり、今後の運営方法について、学校や運営委員会と検討協議していく必要がある。

令和2年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： こども課 児童家庭係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進
施策の内容	子育て環境の整備

令和2年度事務事業の実施状況

事業名	児童センター管理運営事業				
予算科目	3-02-01-05				
R2最終予算額	17,223	R2決算額	15,570	R3当初予算額	15,709
	千円		千円		千円
事務事業評価した主な施策	①児童センター(出町)と児童館(東山見・青島・雄神・種田)の管理運営 ②屋外型の児童遊園(中村・千代・東石丸・夢の平)の管理運営				

事務事業の点検及び評価

必要性	C	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	D	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	C	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	C	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する(又は休止)
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	施設の廃止、休止、統合等、今後のあり方について検討を進める必要がある。	

令和2年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： こども課 児童家庭係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進
施策の内容	元気で笑顔あふれる子どもの育成

令和2年度事務事業の実施状況

事業名	こども・妊産婦医療給付事業				
予算科目	3-02-01-06				
R2最終予算額	179,563 <small>千円</small>	R2決算額	122,427 <small>千円</small>	R3当初予算額	181,997 <small>千円</small>
事務事業評価した主な施策	①子ども・妊産婦の医療費の助成 ・子育て支援医療…乳児から中学3年生までの入通院にかかるもの ・妊産婦医療………医師の診断があった月の初日から出産した月の翌月末までのもの ・未熟児養育医療…低体重、チアノーゼ、黄疸など医師の診断により必要と認められるもの ②呉西圏域連携事業(現物給付の範囲を拡大)				

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	A	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	C	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する(又は休止)
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	乳幼児及び中学校までの児童と妊産婦に対する医療費の助成については、子育て家庭には必要不可欠である。	

令和2年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： こども課 児童家庭係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進
施策の内容	元気で笑顔あふれる子どもの育成

令和2年度事務事業の実施状況

事業名	助産施設収容措置事業				
予算科目	3-02-02-01				
R2最終予算額	420	R2決算額	0	R3当初予算額	420
	千円		千円		千円
事務事業評価した主な施策	①経済上の理由により入院助産を受けることができない妊産婦に対し費用を負担				

事務事業の点検及び評価

必要性	B	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	B	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	C	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	「児童福祉法による児童入所施設措置費等国庫負担金」に係る交付要綱による措置費であることから、該当者がある場合は必ず対応するものである。	

令和2年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： こども課 児童家庭係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進
施策の内容	子どもの人権の尊重

令和2年度事務事業の実施状況

事業名	ひとり親家庭等医療費給付事業				
予算科目	3-02-03-03				
R2最終予算額	32,268	R2決算額	25,968	R3当初予算額	29,099
	千円		千円		千円
事務事業評価した主な施策	①ひとり親家庭等の児童(18歳に達した最初の3月31日まで)及び父、母又は養育者に対して医療費を助成				

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	A	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	C	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する(又は休止)
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	ひとり親家庭等に対する医療費の助成については、ひとり親家庭等の生活の安定と保健福祉の向上に必要不可欠である。	

令和2年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： こども課 児童家庭係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進
施策の内容	子どもの人権の尊重

令和2年度事務事業の実施状況

事業名	母子寡婦福祉資金貸付事業				
予算科目	3-02-03-04				
R2最終予算額	2,000	R2決算額	2,000	R3当初予算額	2,000
	千円		千円		千円
事務事業評価した主な施策	①砺波市母子寡婦福祉連合会への融資資金の貸付 ・母子家庭の母及び寡婦の日常生活に必要な不時の経費に対し、市連合会から小口資金(10万円、半年貸付、無利子)の貸付				

事務事業の点検及び評価

必要性	C	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	D	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	C	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する(又は休止)
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	必要な事業であるが、利用件数が平成29年度以降減少傾向にある。 (H28 19件、H29 4件、H30 2件、R1 4件、R2 6件)	

令和2年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： 教育センター

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	自立と共生の人間形成をめざす学校教育の推進
施策の内容	知、徳、体のバランスのとれた児童生徒の育成

令和2年度事務事業の実施状況

事業名	教育センター運営事業				
予算科目	10-01-03-01				
R2最終予算額	8,030	R2決算額	6,709	R3当初予算額	4,452
	千円		千円		千円
事務事業評価した主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員研修 ・「となみ学びフォーラム」の開催 ・視聴覚ライブラリーの貸出 				

事務事業の点検及び評価

必要性	C	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	B	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	C	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
------	---	---

総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	社会教育及び学校教育の関係者が一堂に会して、「となみの教育」を考える機会として開催している「となみ学びフォーラム」については、参加者が固定していることなどからあり方も含めて、見直しが必要である。 令和2年度の教職員研修については、コロナ禍の影響により、ほとんどの研修が開催できなかった。今後は、オンラインを活用した研修など研修方法の見直しを図る必要がある。
---	---

令和2年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： 教育総務課 学務係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	自立と共生の人間形成をめざす学校教育の推進
施策の内容	知、徳、体のバランスのとれた児童生徒の育成

令和2年度事務事業の実施状況

事業名	小学校教育奨励事業				
予算科目	10-02-02-01				
R2最終予算額	233,993	R2決算額	220,944	R3当初予算額	109,579
	千円		千円		千円
事務事業評価した主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・学校司書、学習支援員、スタディメイトの配置 ・教材用消耗品の購入 ・教育用備品の修繕 ・教育用コンピューターの賃借料及び保守料の支出 ・ふるさと学習推進事業 				

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	A	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	A	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する(又は休止)
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	学習支援員、スタディメイトの配置により、児童の主体的、意欲的な学習活動などを支援してきたが、支援を必要とする児童が増加しており、これまで以上に多くの人員や長時間の配置などの対応が必要である。	

令和2年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： 教育総務課

学務係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	自立と共生の人間形成をめざす学校教育の推進
施策の内容	知、徳、体のバランスのとれた児童生徒の育成

令和2年度事務事業の実施状況

事業名	中学校教育奨励事業				
予算科目	10-03-02-01				
R2最終予算額	117,415	R2決算額	106,090	R3当初予算額	57,513
	千円		千円		千円
事務事業評価した主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校司書、スタディメイトの配置 ・ 教材用消耗品の購入 ・ 教育用備品の修繕 ・ 教育用コンピューターの賃借料及び保守料の支出 ・ ふるさと学習推進事業 				

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	A	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	A	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	スタディメイトの配置により、生徒の主体的、意欲的な学習活動などを支援してきたが、支援を必要とする生徒が増加しており、これまで以上に多くの人員や長時間の配置などの対応が必要である。	

令和2年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： 教育総務課 学務係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	自立と共生の人間形成をめざす学校教育の推進
施策の内容	知、徳、体のバランスのとれた児童生徒の育成

令和2年度事務事業の実施状況

事業名	部活動指導員配置事業費				
予算科目	10-03-02-08				
R2最終予算額	3,138	R2決算額	1,317	R3当初予算額	2,795
	千円		千円		千円
事務事業評価した主な施策	中学校部活動への指導員の配置				

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	A	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	B	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	C	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する(又は休止)
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	中学校に部活動指導員を配置し、教員の部活動指導に係る負担を軽減するとともに、部活動の質的な向上を図っている。 部活動指導員の確保が大きな課題である。	

令和2年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： 生涯学習・スポーツ課 生涯学習係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	楽しく学び自らを高める生涯学習の推進
施策の内容	青少年の健全育成と女性活動の活性化

令和2年度事務事業の実施状況

事業名	青少年女性育成事業				
予算科目	10-05-01-03				
R2最終予算額	2,375	R2決算額	2,113	R3当初予算額	1,047
	千円		千円		千円
事務事業評価した主な施策	青年団体リーダー養成事業 150千円 女性団体支援補助金 28千円 各種団体活動補助 713千円				

事務事業の点検及び評価

必要性	C	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	B	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	C	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する(又は休止)
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	・青年団体リーダー養成事業では、となみ元気道場に事業委託を実施している。青年団体リーダー養成につながるよう、メンバー自身により運営できるよう工夫を図る必要がある。事業の効率化につながるよう、今後も市が助言を行っていく必要がある。 ・青少年の健全育成に資するため、各種団体に補助金を交付するとともに、青少年育成砺波市民会議が中心となり、普及啓発事業を実施している。これらの事業は長期的な取組が必要であることから、今後も継続的な支援が必要である。 ・市連合婦人会が令和元年度末で解散となった。女性団体連絡協議会の今後の活動のあり方について、検討が必要である。 ・各種団体の活動補助金に関しては、会員の減少に伴い事業縮小となることも考えられ、補助金の見直しが必要である。	

令和2年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： 生涯学習・スポーツ課 生涯学習係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	楽しく学び自らを高める生涯学習の推進
施策の内容	学ぶ機会の創出と充実

令和2年度事務事業の実施状況

事業名	公民館事業				
予算科目	10-05-02-01				
R2最終予算額	44,603	R2決算額	42,315	R3当初予算額	42,976
	千円		千円		千円
事務事業評価した主な施策	公民館長・公民館主事報酬費20,648千円 運営事業委託料17,699千円				

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	A	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	B	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する(又は休止)
------	---	---

総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	公民館の事業実施のために、各公民館に公民館運営事業委託を実施している。この委託料は、固定額と世帯数に応じた額の合計である。人口は減少しているが、世帯数は増加しているため、委託料の計算方法を見直す必要がある。なお、令和2年度から、公民館長と公民館主事は会計年度任用職員に移行した。	
---	---	--

令和2年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： 生涯学習・スポーツ課 文化・芸術係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	文化芸術の振興と文化財の保護
施策の内容	文化財等の保存と活用

令和2年度事務事業の実施状況

事業名	文化財施設管理運営事業				
予算科目	10-05-03-03				
R2最終予算額	3,283	R2決算額	3,223	R3当初予算額	3,527
	千円		千円		千円
事務事業評価した主な施策	かいによ苑維持管理3,223千円（利用者約1,341人）				

事務事業の点検及び評価

必要性	C	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	C	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	C	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	C	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
------	---	---

総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	かいによ苑は文化財施設の利用であり、利用者の活動も制限されている。市指定の文化財として施設を維持管理し、長寿命化を図るべきだが屋根の葺き替え工事が懸念材料である。また、市民が生涯学習活動に利用できる施設が他にもあることから、今後のあり方を検討する必要がある。
---	---

令和2年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： 生涯学習・スポーツ課 文化・芸術係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	文化芸術の振興と文化財の保護
施策の内容	文化芸術活動の推進

令和2年度事務事業の実施状況

事業名	庄川美術館管理運営事業				
予算科目	10-05-03-08				
R2最終予算額	6,298	R2決算額	6,298	R3当初予算額	6,298
	千円		千円		千円
事務事業評価した主な施策	指定管理料 6,298千円				

事務事業の点検及び評価

必要性	C	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	C	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	C	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する(又は休止)
------	---	---

総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	中学生清流展など独自の企画展示を積極的に行っており、年に8回も企画展を行うなど市民に向けて文化芸術の魅力発信に努めている。しかし、施設の老朽化により雨漏りが発生するなど問題もある。近い将来施設の大規模改修が見込まれることや他に類似施設があることから、施設の廃止及び機能移転を検討しなければならない。
---	---

令和2年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： 生涯学習・スポーツ課 文化・芸術係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	文化芸術の振興と文化財の保護
施策の内容	文化財等の保存と活用

令和2年度事務事業の実施状況

事業名	庄川水資料館管理運営事業				
予算科目	10-05-03-09				
R2最終予算額	2,171 <small>千円</small>	R2決算額	2,171 <small>千円</small>	R3当初予算額	2,171 <small>千円</small>
事務事業評価した主な施策	指定管理料 2,171千円				

事務事業の点検及び評価

必要性	D	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	C	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	D	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	D	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する(又は休止)
------	---	---

総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	水と自然をテーマにして年間を通じて常設・企画展示を行っており、小中学校における遠足や授業の一環として利用されることがあるが、現状では少ない。施設の経年劣化が進み、修繕工事等の維持管理のコストが高つくことから、施設の廃止及び機能移転を検討しなければならない。
---	--

令和2年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： 生涯学習・スポーツ課 スポーツ振興班

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	心と体を育むスポーツの振興
施策の内容	スポーツ競技力の向上

令和2年度事務事業の実施状況

事業名	スポーツ奨励事業			
予算科目	10-06-01-04			
R2最終予算額	11,336	R2決算額	3,818	R3当初予算額
	千円		千円	千円
事務事業評価した主な施策	社会体育事業費（市体開催、県体派遣）515千円、となみ庄川散居村縦断マラソン開催補助金200千円、優秀スポーツ選手育成事業補助金1,200千円、ジュニア強化・指導育成事業補助金580千円、B&G海洋センター活動補助金475千円、少年少女優秀スポーツ選手表彰費160千円、スポーツ競技大会出場激励金605千円			

事務事業の点検及び評価

必要性	C	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	C	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	C	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
------	---	---

総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	<p>・市民体育大会及び県民体育大会の夏季、冬季大会、となみ庄川散居村縦断マラソンの開催により、スポーツに関心を持ち親しむ機会となっているが、各大会など開催方法については検討する必要がある。</p> <p>・コロナ禍における各大会等が中止になっている中で、いかに指導者育成や選手競技力の向上を図るか、持続的な効果をあげる取り組みについて検討する必要がある。</p>	
---	--	--

Ⅲ 学識経験者の意見について

令和2年度教育委員会事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価にあたり、客観性を確保するため、点検評価の方法や結果等について学識経験を有する者の意見を聴いた。

1 学識経験者の氏名等

氏名	主な経歴等
山本 一弘	元小学校長
南本 純子	砺波市女性団体連絡協議会幹事
吉田 快	砺波市PTA連絡協議会長

2 意見聴取日等

令和3年11月25日（木） 砺波市役所東別館会議室

3 主な意見

- (1) 教育施設、文化施設、体育施設など、新型コロナウイルス感染防止対策については、引き続き、感染状況に応じてきめ細やかな対応をお願いしたい。また、開館状況や利用方法などの周知について、早く広く市民に伝わるようお願いしたい。
- (2) 青少年女性育成事業のうち、砺波市女性団体連絡協議会は、役員構成等に苦慮されており、今後どのように活動していくか検討されていると思うが、引き続き支援をお願いしたい。
- (3) 放課後児童クラブは、支援員には、多様な子どもの特徴や子ども同士の関係を把握し適切に関わることが求められている。支援員の知識や技能の習得、資質向上のため、研修や情報交換等を充実していただきたい。
- (4) 小中学校に学校司書やスタディメイト、学習支援員等を配置し、人的整備をしっかりと行っている。引き続き、児童生徒の学習活動や学校生活の実情に応じて配置していただきたい。
- (5) 小中学校では、1人1台端末が配置され、授業でのICT活用が本格的に進められている。ICTに関して苦手意識を持つ教員もいると思うが、全体的なレベルの底上げのため、砺波市でしている良い取組みや事例を、もっと皆さんにアピールしてほしい。
- (6) 小中学校の運営や学習の取組み状況を多くの方々に知っていただくことは、保

護者や地域の方々との信頼、協力関係の向上につながることから、学校情報の積極的な情報発信を進めていただきたい。

- (7) 教育関連施設の見直しや再編が進められているが、財政面や行政効率からの視点が大きいように思うが、住民のニーズを意識しながら検討いただきたい。特に学校に関しては、現代的な地域課題として捉えていただき、丁寧に時間をかけて住民の危機感、一体感を大切にして進めていただきたい。
- (8) 家庭児童対策事業について、コロナ禍によって、いままで以上に家庭児童の相談や虐待等の困難ケースが懸念される。その家庭や児童に対応する支援員や相談員が疲弊せず、温かみのある心を持って業務できるよう体制整備に努めていただきたい。
- (9) 地域を知り、地域に愛着と誇りを持ち、最終的には、地域に貢献しようと思ってくれる人を育成するために、子供たちには、地域を知る活動や地域にあるものを活用する活動、地域の人と触れ合う活動などを組み合わせながら進めていただければと思う。教育委員会として、人づくりを見据えた施策を進めていただきたい。

IV まとめ

教育に関する事務の点検及び評価において、点検評価の方法や結果等について、学識経験者の皆さんからいただいた貴重なご意見を反映させます。

今後とも、点検及び評価制度をもとに、課題を明らかにしながら教育施策の推進に努めます。